

平成19年度 第7回 環境審議会 会議概要

日時：平成19年12月6日（木）午後1時30分から4時

場所：穂高支所 3階 第3会議室

出席者：環境審議会委員15名、事務局4名、コンサル1名、傍聴者3名、マスコミ3名

議事録

挨拶 ・環境審議会長

1. 前回議事録の確認及び今後の日程等について（事務局より）

- ・前回議事録について（異議なし）
- ・資料説明（市長への答申文・計画の全体イメージ図・数値目標について原案の内容説明）

2. 環境基本計画素案案についての討議

- ・市長への答申文について検討
 - ・項目2の2行目の「数値目標」の前に「当面の」を入れたほうがいい。その2行下の「具体的な数値目標」と明確に分けられる⇒承認
- ・計画全体のイメージ図についての検討
 - ・地球環境と自然環境の間に矢印があったほうがいい⇒双方向の矢印（⇔）を入れることで承認
- ・数値目標についての検討
 - ・数値として掲載できるものは載せていく。すぐに算出できないものは数値目標の表には掲載しないが、その項目については、市として今後において優先的に数値目標として掲げるようその数値目標の表の下欄に記載する⇒承認
 - （フードマイレージの啓蒙・省エネ住宅戸数・計画的なまちづくりの推進・市外地の整備・緑化の推進・街路樹の整備・公共施設の緑化推進・協働のコーディネーター等の数値目標）
 - ・「水質環境基準達成率」については、環境基準の地域設定をよく調査してから、目標設定すること。また市外から流れ込む分についての調査箇所については慎重に取り扱うこと。
 - ・「フードマイレージの啓蒙」については、PR度を指数化する方法もある
 - ・「緑化の推進」については、定義が難しい。街路樹の整備とか公共施設の緑化推進とかにしたらどうか
 - ・「協働のコーディネーター」については、重要性がある。前向きに検討してほしい
 - ・「省エネ住宅戸数」については、定義が難しい。よって検討する時間がもう少しほしい
 - ・「1日1人あたりの温室効果ガス排出量約6kgを1kgとする」については、どのようにして数値の把握をしていくかが課題

3. 市長への答申（3時30分～）

- ・会長から市長へ答申書を手渡す
- ・その後、市長との意見交換会
 - ・（副会長）答申までの経過説明
 - ・（委員）環境問題は近隣市町村との連携が必要との意見
 - （市長）全くそのとおりで、今後もさらに連携できるようにしていきたい

以上、終了

平成 19 年 12 月 6 日

安曇野市長 平林 伊三郎 様

安曇野市環境審議会
会長 降 旗 和 夫

環境基本計画について（答申）

平成 19 年 11 月 8 日付 19 環境 C アー3 第 6 号で諮問のありました環境基本計画について、慎重なる審議を重ねたうえで、別添のとおり答申します。

なお、本計画の推進にあたっては、下記事項に十分配慮されるとともに、計画の達成に向けて努力されるよう要望します。

記

- 1 安曇野市の「人と自然が共生した生活環境をつくり、将来への持続可能な地域づくり」を進めるために、「目指すべき将来の環境像」に掲げた基本方針に基づく施策の実現に努めること。
また本計画の趣旨や内容を分かりやすい形で市民に周知するとともに、計画の推進にあたっては、広く市民の理解と協力を求めること。
- 2 審議会の総意としては、市長から示された素案については了解し、追加として計画の全体イメージならびに環境施策推進のための当面の数値目標について添付するので、計画策定にあたりご配慮いただきたい。
また今後においては、市民・事業者・行政を含めた中核組織を設立し、具体的な数値目標を設定した上で、計画の進行管理ができる体制づくりをすること。
特に温室効果ガス排出量については、現状値把握と目標設定を早急に行うこと。
- 3 この計画実行に向けて、市としての「環境行動宣言」を行い、市民・事業者の啓発や意識高揚を図ること。

循環型・持続可能な社会の構築のための数値目標

大区分	中区分	指標	現状	目標	
				H24	H29
地球環境	地球温暖化対策、CO ₂ 等温室効果ガスの削減を示し、エネルギー使用の抑制に努める	市関連施設における温室効果ガス排出量を把握し削減する	H20 調査	調査後決定	調査後決定
		1日1人あたりの温室効果ガス排出量約6kgを1kg削減			
		太陽光発電システム設置戸数(戸・累計)	404	1,000	1,500
		ISO14001取得事業所数	18	23	28
		市関連施設における環境マネジメントシステム取得	0	1	
		「チームマイナス6%」参加者数	0		
自然環境	農業の振興	認定農業者数(経営体)	275	300	320
		集落営農組織数(品目横断的経営安定対策への加入組織数)(組織)	13	30	35
		担い手への農用地利用集積率(%)	35.4	50	62
		市民農園利用者数(人)	194	200	214
	林業の振興	林内路網(m/ha)	20.9	21.5	22.1
		間伐目標面積(ha/年)	150	227	227
	自然環境の保全	「身近な生物調査」の実施(回/年)	1	1	1
		環境インストラクターの育成(人・累計)	—	10	20
		環境インストラクター等による環境学習の実施(回/年)	—	5	10
生活環境	水質汚染物質の管理、水質浄化の推進	水質環境基準達成率(%) [BOD数値による環境基準との比較]			
		上水道普及率(%)	98.9	99	99
		公共下水道整備率(%)	72.2	85	90
		公共下水道水洗化率(%)	73.4	77	80
	ゴミ減量化、リデュースの推進	(1人1日あたりの燃えるごみ排出量(g/人・日))	380	340	300
		(1人1日あたりの資源物排出量(g/人・日))	173	190	210
		リサイクル数量(t/年)	6,272	7,000	7,700
		廃食用油回収事業(石けん、BDF)(L/年)	1,132	3,200	4,200
		レジ袋有料化店舗数(店舗・累計)	—	25	50
快適環境	景観の保全・育成(街並み景観の整備、環境と景観に配慮したまちづくり)	景観育成(形成)住民協定締結地域数	24	26	28
	住環境	公園の整備(一人当たり)公園面積(m ² /人)	13.36	検討中	検討中
		公営住宅の整備 公営住宅整備戸数(戸)	468		
	耐震化の推進 簡易耐震診断の件数(戸)	216	600	1,000	

* 上記のほか、フードマイレージの啓蒙・省エネ住宅戸数・計画的なまちづくりの推進・市外地の整備・緑化の推進・街路樹の整備・公共施設の緑化推進・協働のコーディネーター等の数値目標についても検討されたい。